

I. これまでの活動

○ 主に道州制に移行した場合の県民にとってのメリット・デメリット等について分野別に議論

- ◆福祉・保健・環境
- ◆教育・科学・文化・人材
- ◆交通・社会資本
- ◆経済・労働・交通

H19. 10~H21. 3  
合計6回の研究会開催

○ 大分県道州制研究報告書の取りまとめ

II. 研究会での指摘事項

○ 地域住民への十分な情報提供と幅広い議論喚起の必要性

- ★21世紀の大分県を担うべき若い世代や格差拡大の影響を受けやすい周辺部住民等に対する道州制議論の周知や生の声の汲み上げ

○ 道州制の備えとして、どのような将来像を描き、どのような課題に取り組み、どう対策を講じべきかの検討が大切

- ★大分地域が衰退しないような万全の備え
- ★大分県の「強み」を見つめ直し、その効果的な活用を図ることが不可欠  
「強み」を磨き上げ、伸ばす

○ 議論に際して今一度留意すべき論点

- ★州都を巡る問題
- ★基礎自治体のあり方
- ★自立した住民意識の醸成

○委員を2年間再任  
※再任が困難等な委員については、新たに委員を選任

○研究会での指摘をもとに、  
テーマを決めて研究会委員との意見交換会を実施

III. 研究テーマ(案)

○ 若い世代から見た道州制

〈実施方法〉

- ★APU、大分大学、別府大学などの大学生を対象とした意見交換(1回)
- ★商工会議所・商工会青年部、青年会議所などの若者を対象とした意見交換(1回)

〈研究会での指摘〉

- ★若い世代が道州制をどう思うのかなど、若い世代の人たちとの議論が必要

○ 市町村から見た道州制

〈実施方法〉

- ★市町村長を対象とした意見交換(1回)

〈研究会での指摘〉

- ★大分地域の強みを活かすことが大切
- ★州都を巡る問題、基礎自治体のあり方、自立した住民意識の醸成といった論点に留意すべき

○ 住民から見た道州制

〈実施方法〉

- ★道州制によって影響があると予想される分野(※)から住民代表として選出し、意見交換(2回)

(※)○サラリーマン・主婦 ○商工業、観光、マスコミ、農林水産業 ○福祉 ○環境  
○医療・保健 ○教育 など

〈研究会での指摘〉

- ★周辺部住民等の声に耳を傾けるべき
- ★大分地域の強みを活かすことが大切
- ★州都を巡る問題、基礎自治体のあり方、自立した住民意識の醸成といった論点に留意すべき

○ 研究会スケジュール(案)

平成21年8月28日 第1回研究会  
・研究会の進め方及び全体スケジュール等

意見交換会(概ね2、3か月に1回、5回程度)  
・道州制についての説明(各界、県研究会報告書等の紹介等)  
・意見交換会(※開催時期は参加者の都合により決定)

平成23年3月 最終回研究会  
・研究会報告書の取りまとめ